

終業式 校長講話（抜粋）

良いことや嬉しいことが、いくつもあった1学期でした。

そのうちの幾つかを紹介します。

4月は、「一年生を迎える会」がありました。元気いっぱい校歌を歌うことのできる5人の1年生。その歌声にあわせて全校のみんなで校歌を歌ったことが、今も心に残っています。それに、麻績小学校の誰もが「1年生に一日も早く学校生活に慣れてもらいたい」という気持ちを持って、心を込めてこの会を盛り上げました。「思い合い」



の心があふれていましたね。

5月は、「学校みどりの日」がありました。聖高原までの急な上り坂では、お兄さんお姉さんがグループの下の学年の友だちの荷物を持ってあげたり背中を押してあげたりする姿がありました。でも、自分でがんばることのできる間は、



手助けをせずに自分の力でかंबれるように励ますこともできました。そんなみなさんの姿から、「優しさ」は甘やかすことではなく、自分で頑張ろうとする力を引き出してあげることだと教えてもらいました。「鍛え合い」の姿がたくさんありましたね。お昼を食べた後のグループ活動では、班長さんのリー

ダーシップと、グループの友だちの協力があって、みんなとても楽しい時間を過ごすことができました。このことも、強く心に残っています。

6月は、なんと言っても「音楽会」が心に残りました。「音を大切に」を合い言葉に、全校のみんなが心をつにして、すばらしい歌声や楽器の音色を響かせてくれました。

音楽会の前日、隣り合う学年同士で演奏を発表し合い、聴き合い、お互いのいいところについて伝え合う皆さんの姿を、心から素晴らしいと思いました。違う学年の友だちにほめてもらえる。こんな、うれしくてやる気の出ることはありませんよね。

「ふるさとの四季」の全校合唱では、それぞれの学年の歌声のよさが発揮されて、さらにそれがひとつにまとまって全校が心をひとつに合わせての歌声になりました。聴いてくださった多くの方が「麻績小の皆さんの歌声に感動しました」「たくさんの元気をもらいました」と話してくださいました。



7月に入ってからは暑い暑い毎日が続いています。今、あまりの暑さで、体調を崩す人が出ないことを祈っています。そして、ランチルームで全校の皆さんといっしょの給食をいただけないことが、わたしはとてもさみしいです。

さあ、明日からは楽しい夏休みです。

夏休みは、あまりに暑いから学校を休んで家で勉強をする、という休みです。ですから、みなさんに家で守ってほしいことを三つ話します。

1 事故を起こさない

交通事故：飛び出し・よく見て横断・ヘルメット 線路で遊ばない

水の事故：子どもだけで川遊びをしない

◎熱中症に注意：出かけるとき、ぼうし・すいとう 室内でも水分補給

2 長い休みしかできないことをする

地区の行事にすすんで参加する 自由研究に時間をかける

本をたくさん読む

3 あいさつをきちんとする

お家の人に、近所の人にすすんで、明るい声であいさつ

休みあけの8月22日、みなさん全員と元気にあえることを楽しみにしています。みなさん。よい夏休みにしましょう。

お家の皆様 一学期 ありがとうございます。

子どもさんに大きな病気やけがもなく、この日を迎えることができたことはお家の皆様のご支援ご協力のたまものです。心より御礼申し上げます。

子どもさんの一学期のがんばりや育ちを、どうかいっぱい認めてほめてあげてください。元気をいっぱいのために二学期のスタートを迎えることができますように、夏休み中の生活をよろしく願いいたします。

休み明け、子どもさんの元気な笑顔を待っています！